

障害者自立支援機器ニーズ・シーズマッチング交流会2025
日にち:令和7年12月19日(金)
会場:東京都立産業貿易センター浜松町会館

障害者自立支援機器にかかわる連携協力機関事例報告会

社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団の
取り組み紹介

香川県の紹介

土地面積 1876.83平方km (全国一小さい県)

※令和5年10月1日現在の国土地理院による統計データに基づく情報

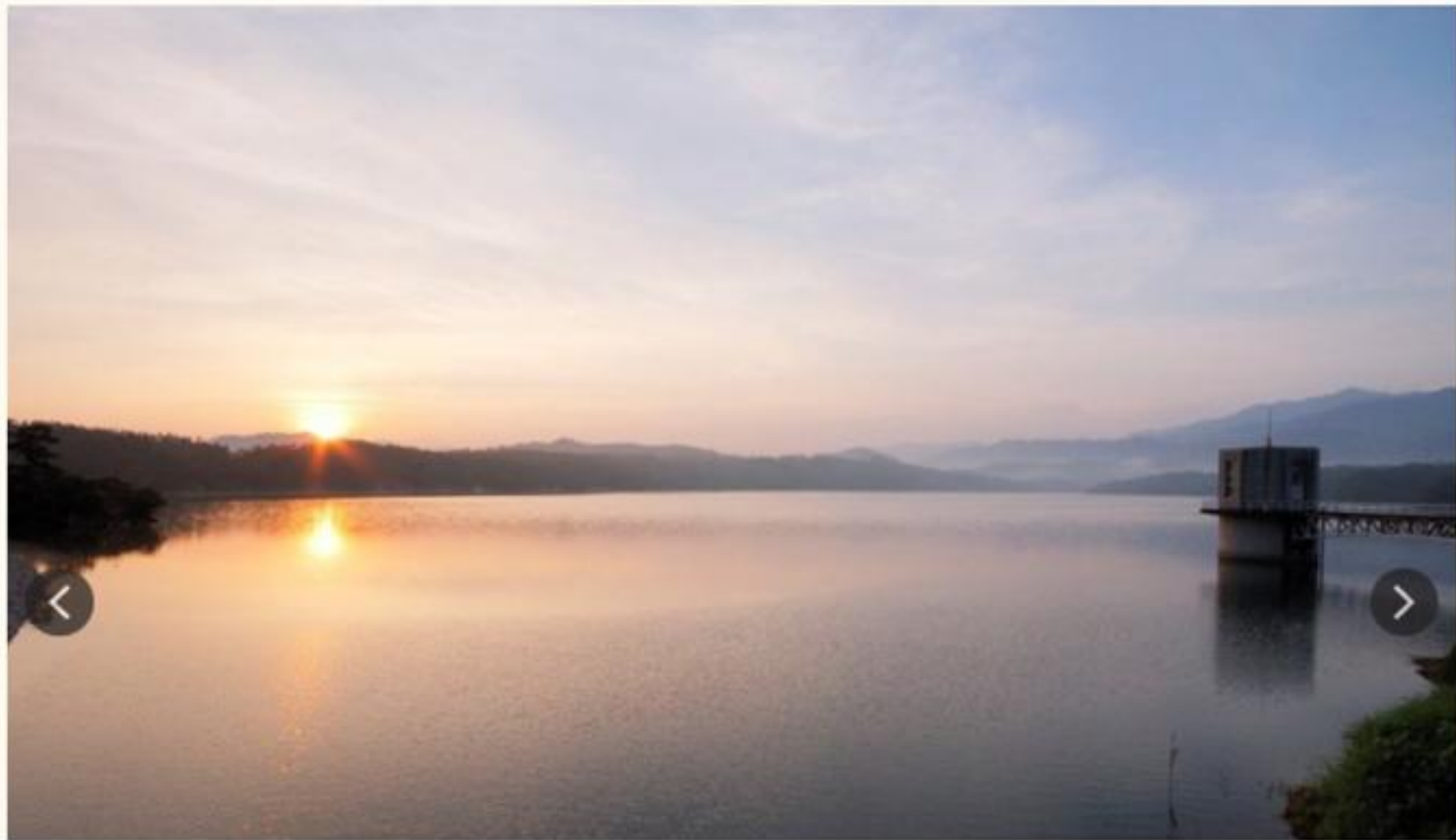
人口908,642人 (令和7年9月現在)



ため池王国 香川

うどん県旅ネットより

ため池密度日本一！ 日本最大級のため池“満濃池”もあります



オリーブの収穫量

香川県・香川県公式ホームページより

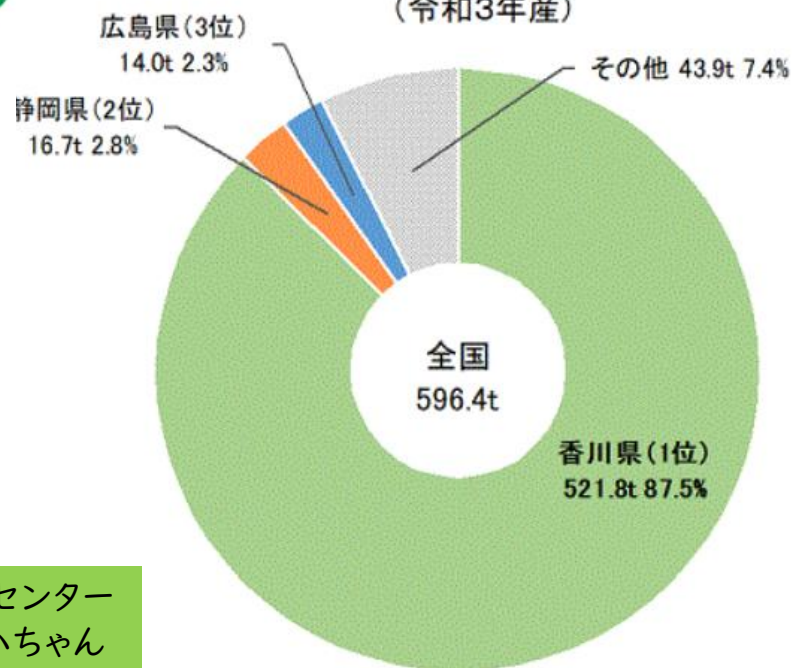
521.8t（令和3年産）－全国1位－

令和3年産の特産果樹生産動態等調査で、「オリーブ」の収穫量をみると、香川県は521.8tと全国シェアの87.5%を占め1位となっています。

気候の温暖な小豆島は、日本で初めてオリーブの栽培に成功し、「オリーブの島」と呼ばれています。現在、「オリーブ」は香川県の県花・県木に指定され、主に小豆島町、土庄町、三豊市などで栽培されています。収穫されたオリーブの実は、オリーブオイルや塩漬け、化粧品などさまざまな商品に加工され、広く消費されています。



＜オリーブの収穫量＞
（令和3年産）



うどんに関する統計情報

香川県がうどんを愛する「うどん県」であることは、統計にも表れています。



うどんに関する統計情報

指標名	全国順位	統計表
店舗数	1位	店舗数統計表（エクセル：20KB）



うどん県に
ようこそ

うどん県副知事
要潤

17万

MOVIE 副知事より「うどん県」改名のお知らせ動画



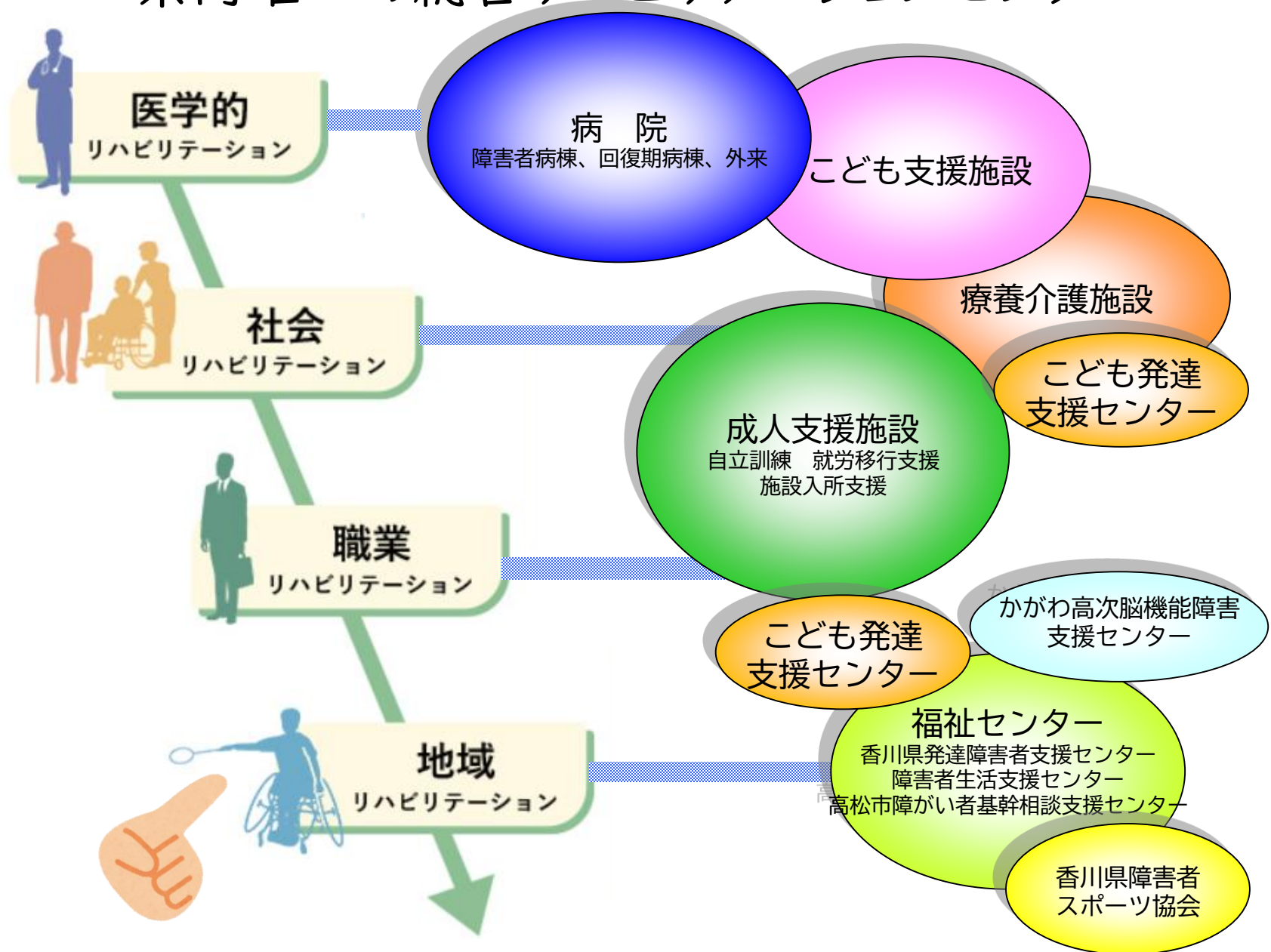
香川県は「うどん県」
私たちはうどん県で
自他ともに認める
これまでは「うどん
やや遠慮気味に語
これからは大手を断
「うどん県！」であ
まだ当地にお越しに
ぜひこの機会にうど
うどん県ショッピング
奥深きうどんの神
「何か」も発見する

当事業団の紹介（組織の特徴、強み）



圏域名	市町名
東部障害保健福祉圏域	高松市、さぬき市、東かがわ市、三木町、直島町 （3市2町）
小豆障害保健福祉圏域	土庄町、小豆島町 （2町）
西部障害保健福祉圏域	丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、三豊市、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町 （5市5町）

福祉と医療が融合した 県内唯一の総合リハビリテーションセンター



福祉センター



福祉センターでは、健康づくりやレクリエーション、文化活動とともにスポーツや交流施設を総合的に提供し、障害のある方の自立と社会参加を促進します。また、だれもが健康で豊かに共に暮らせる地域づくりを目指します。

職員体制（11名）

科長 1名

体育指導員 4名

作業療法士 1名

理学療法士 1名

地域支援員 1名

地域支援員 2名

事務等 1名

障害者の自立支援機器の 開発や普及に関する取り組み

障害者自立支援機器にかかわる取組みは2本柱 (福祉用具/ICT相談)

①福祉用具展示相談事業 くらし快適館

令和3年度より(県委託事業)

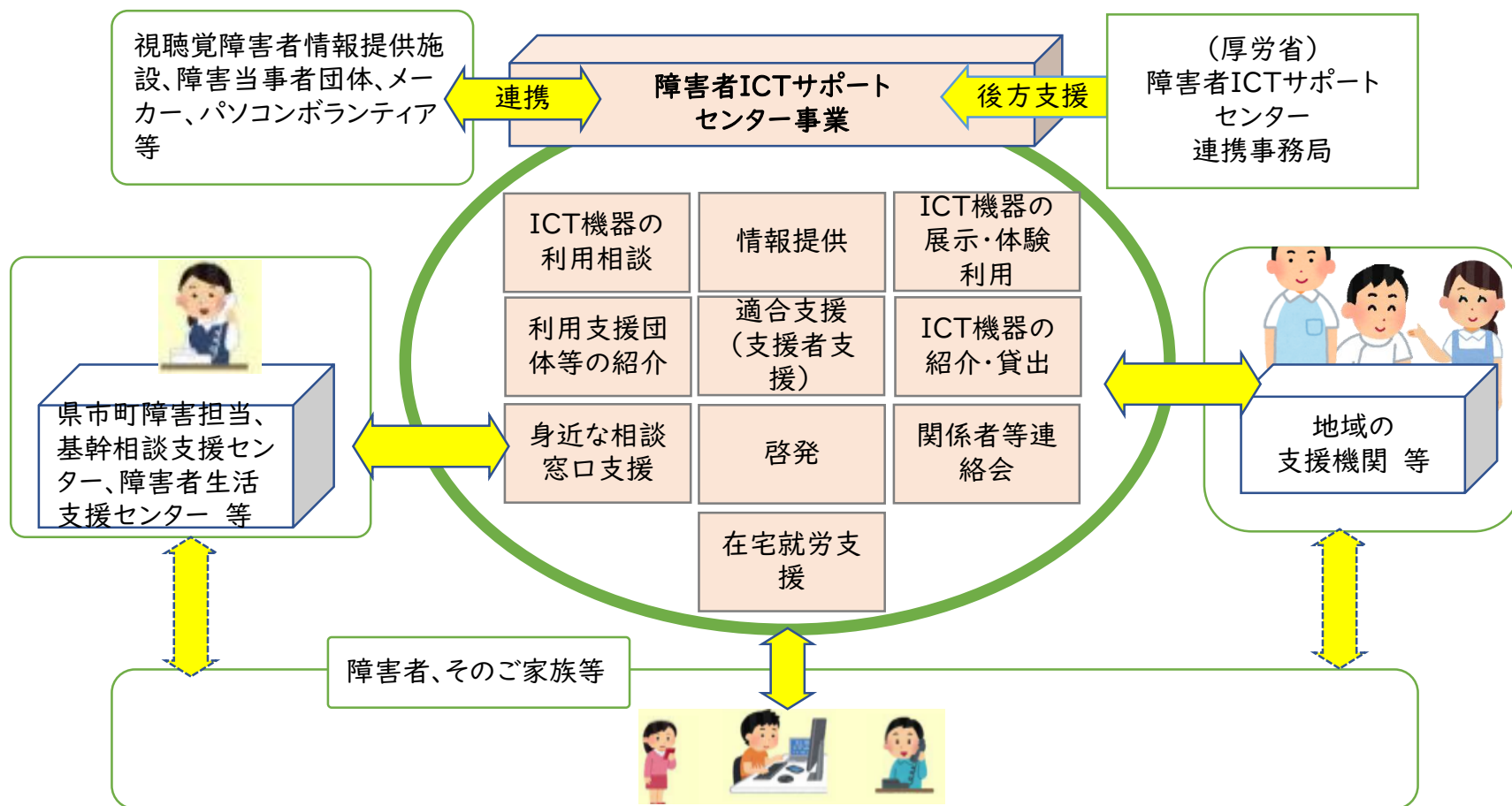
福祉用具の展示・体験
相談

- ・用具説明
- ・適合支援
- ・制度説明
- ・支援者に試用貸出し
- ・訪問相談にも対応

研修
啓発



②障害者等ICT活用支援事業 かがわ障害者ICTサポートセンター 平成14年より(県委託事業 令和7年ICTサポートセンターへ)



相談・適合支援・研修・啓発①



相談・適合(住環境)



研修・啓発(支援技術)



相談・適合(自動車運転再開)

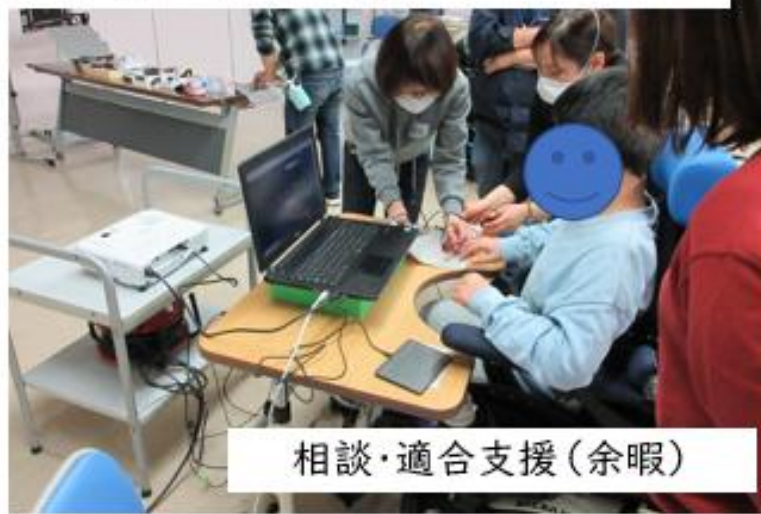


啓発(企画展)

相談・適合支援・研修・啓発②



相談・適合支援(学習)



相談・適合支援(余暇)



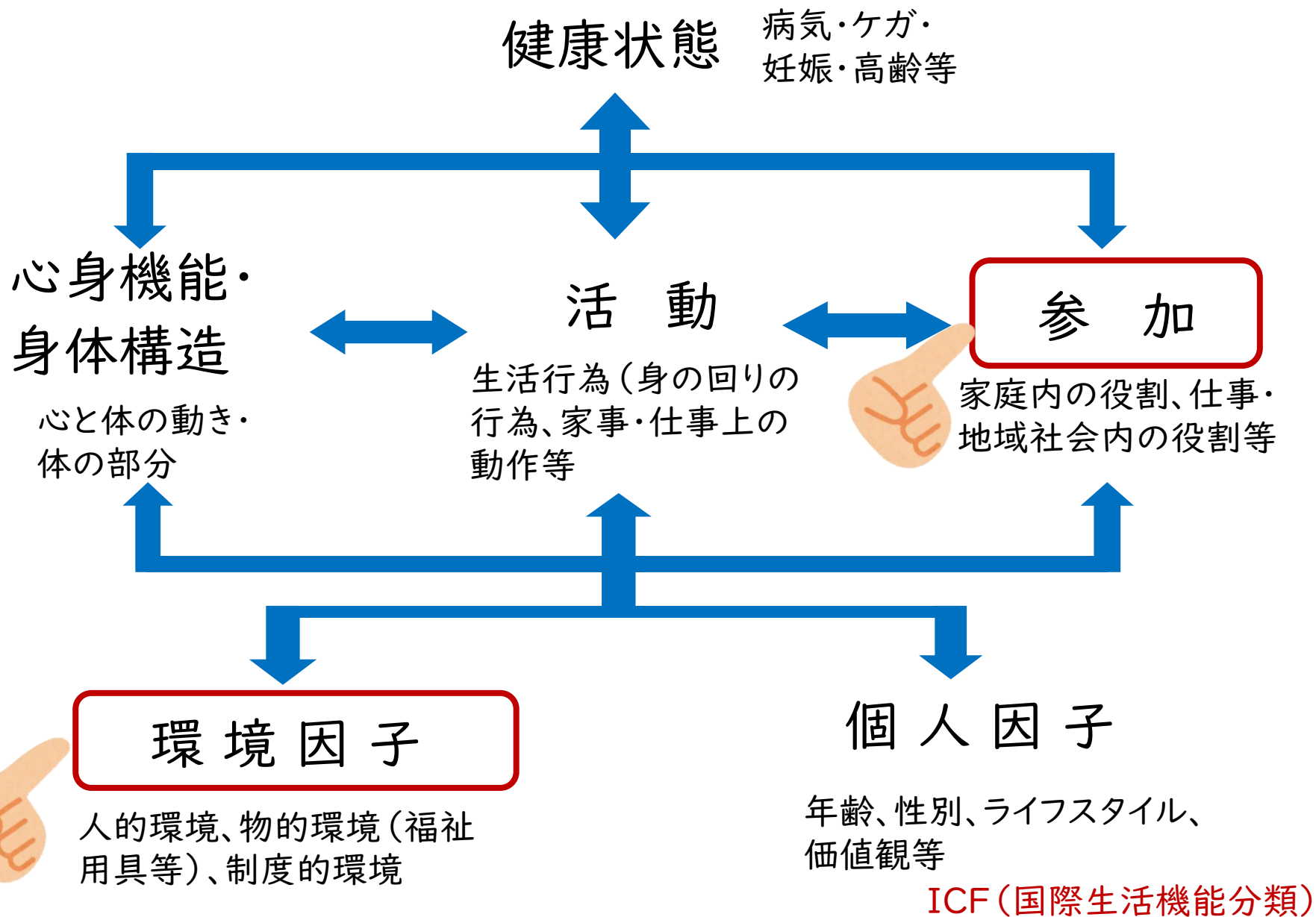
相談・適合支援(テレワーク)



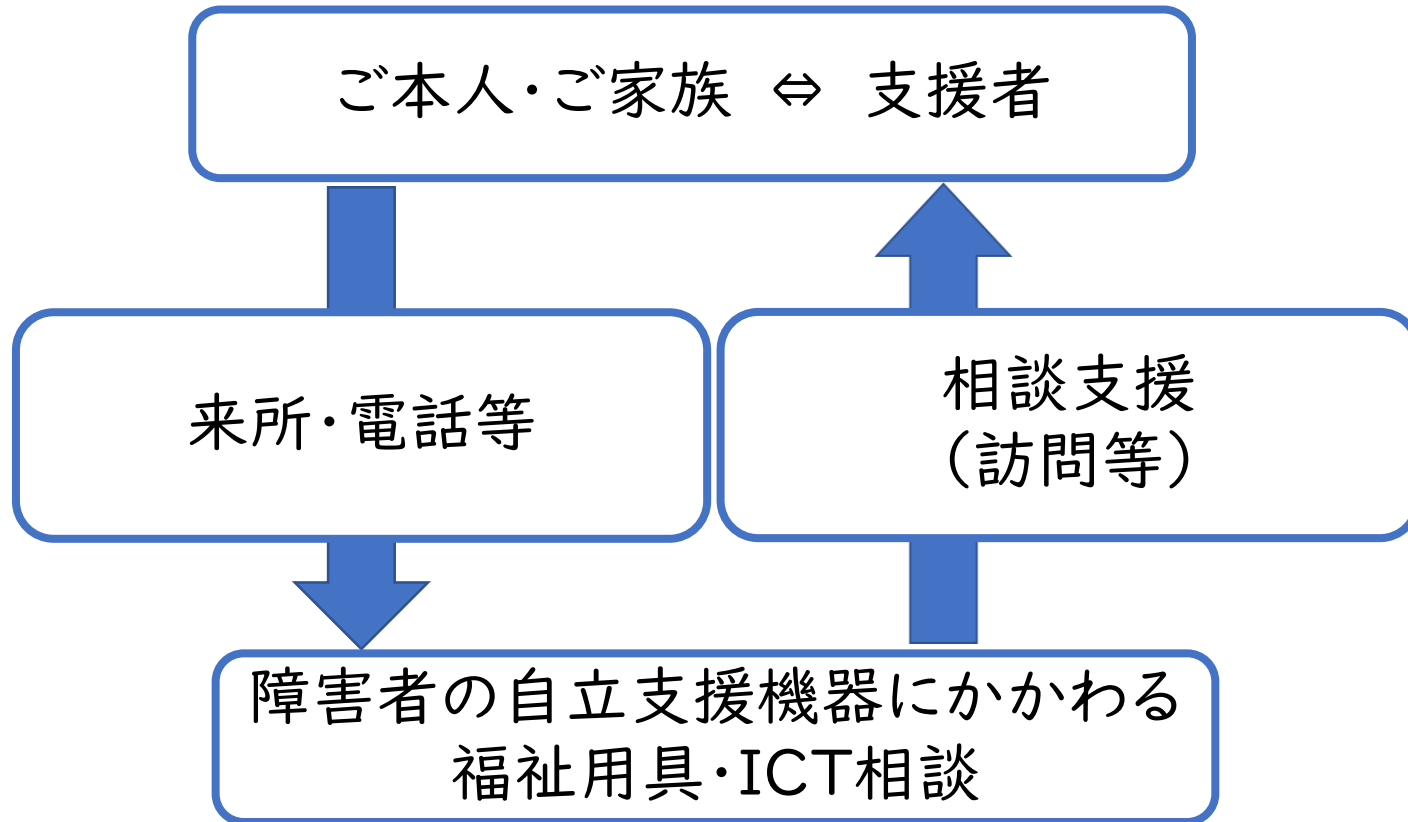
研修・啓発(コミュニケーション支援)

事業実施の方策

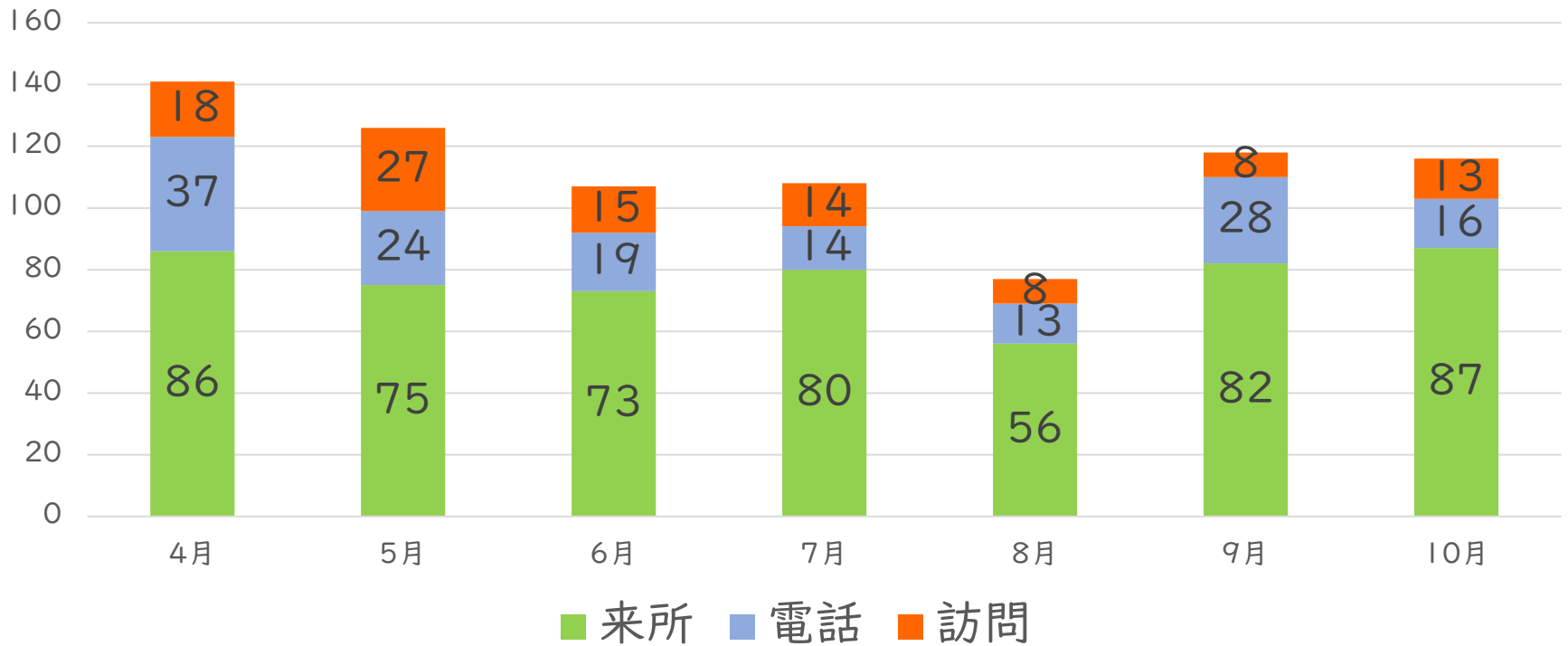
用具は、その人らしい参加(くらし)を支える環境のひとつ



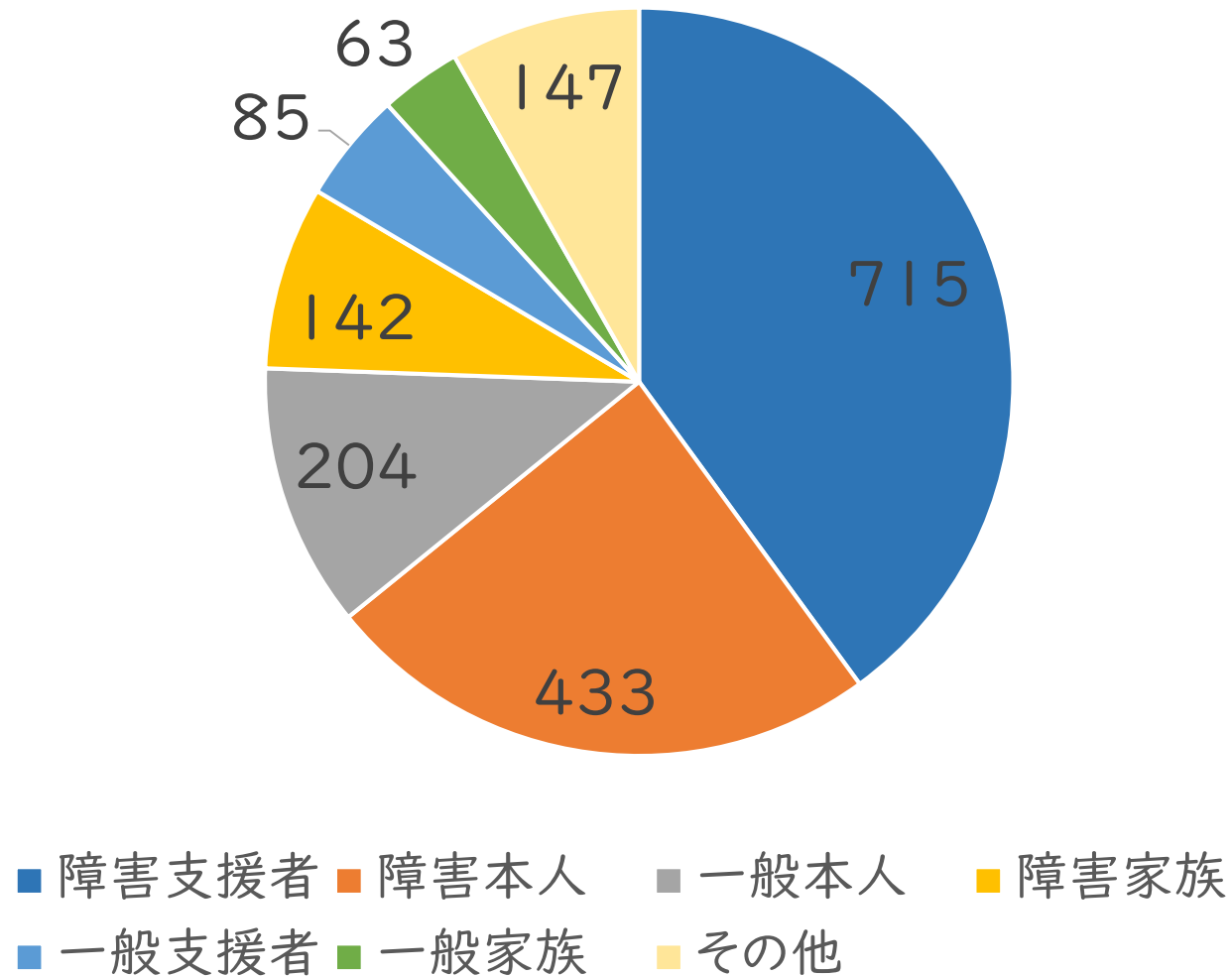
相談の流れ



R7年度 相談方法の内訳



R7年度 相談者の内訳



適合支援の流れ

相談（保健師、CM、MSW、相談支援専門員等）

ニーズの把握、整理（家族も含めて）
支援チームの構成や、役割分担等と
コーディネート

支援者の
役割分担

情報提供

用具・機器、制度等

導入支援

用具・手段、入手方法の
検討

試用、選定、適合評価等

活用支援

フォローアップ

モニタリング

<派遣職員>

療法士、社会福祉士

今の生活を
みる

目的を
明確化

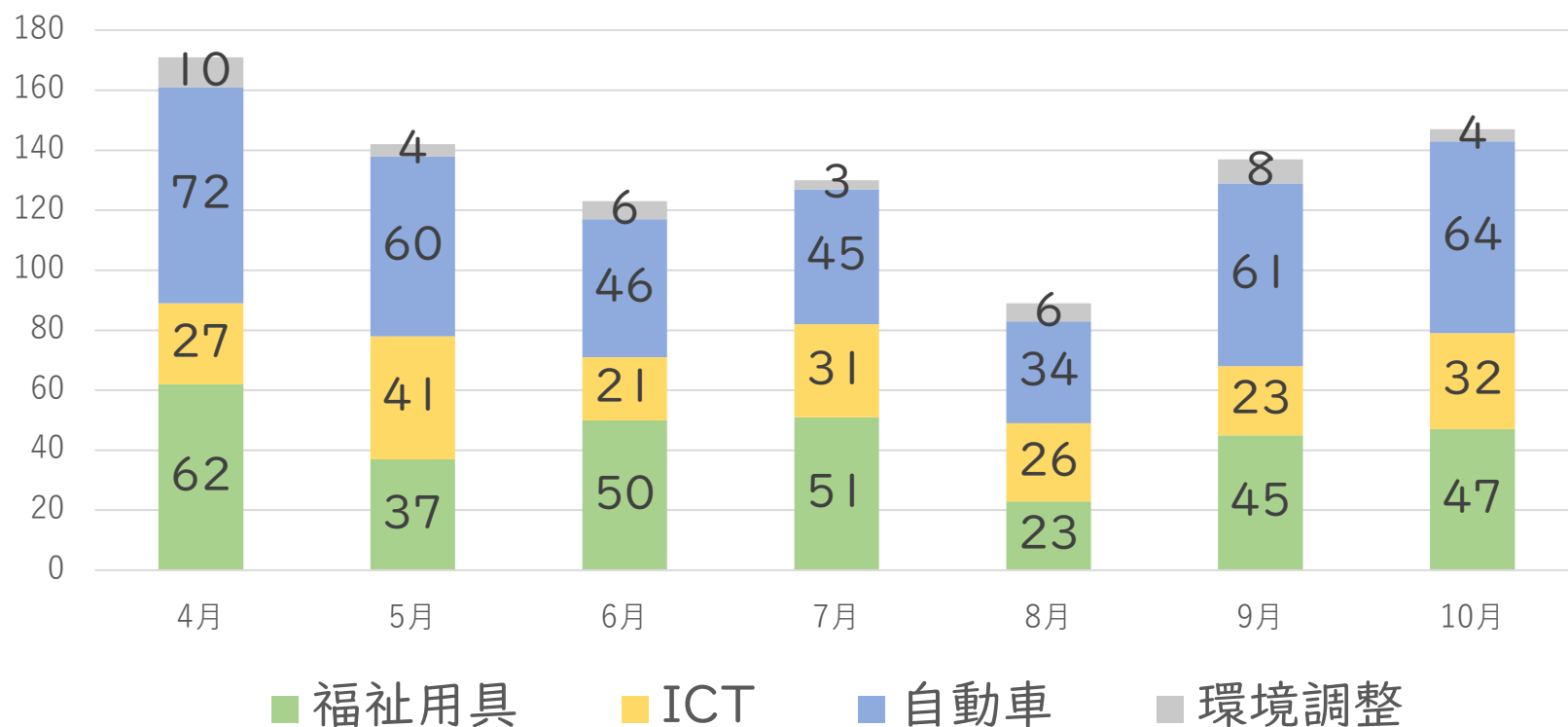
障害状況の
把握

段階的
支援

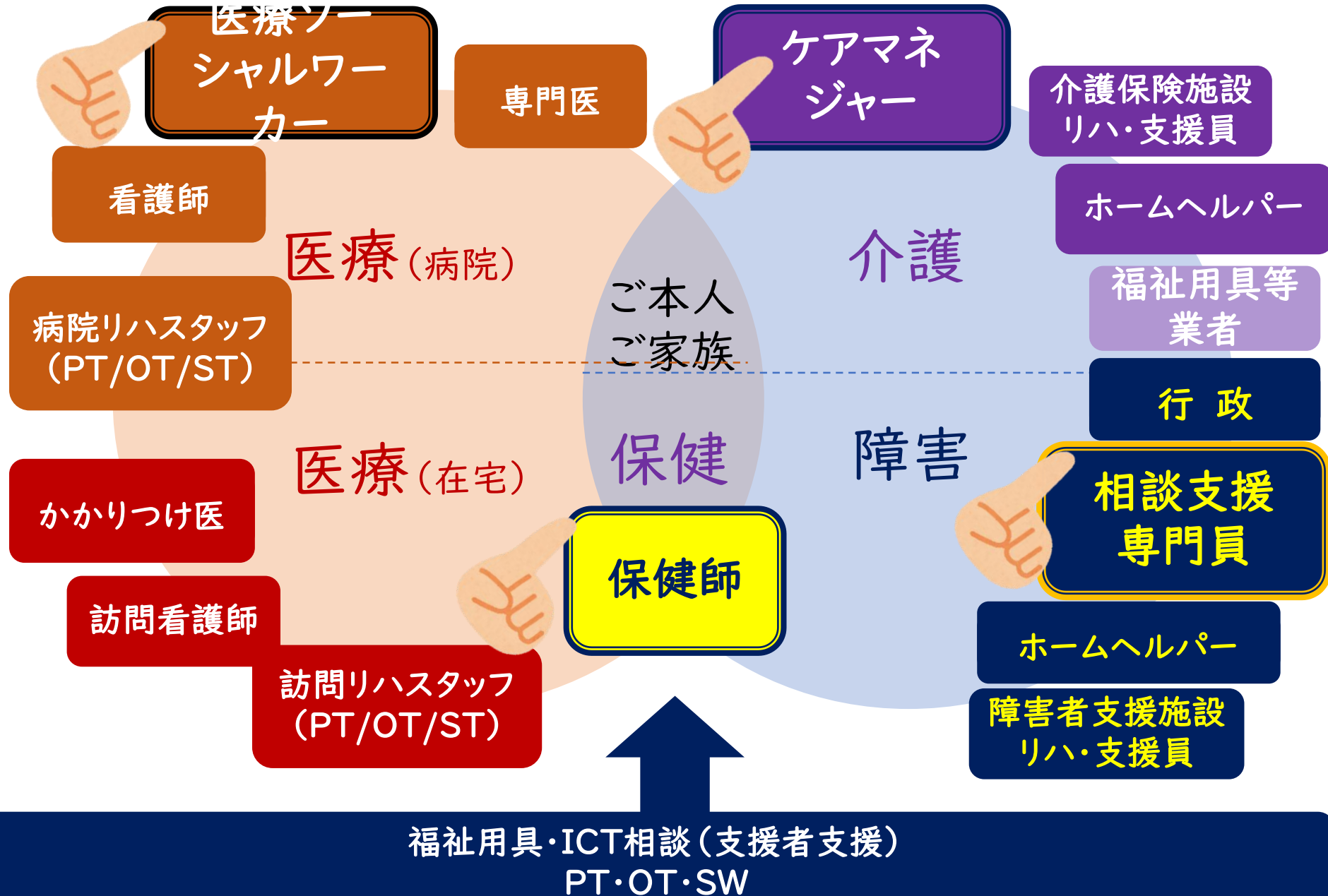
継続的
支援



R7年度 相談内容の内訳（複数内容の相談含む）



地域の力を活かした支援体制づくり(例)



多職種多分野連携と支援者支援

ヘルパー

業者

ご本人

ケアマネ

訪問リハ

行政

視線入力の意味伝達装置で意思を伝え、自律した生活を送りたい

現在の課題等

✓普及

相談窓口としての認知度向上

多職種多分野連携…顔の見える関係づくり

支援者支援、研修（講師派遣等）機能の充実

身体状況、くらしの場、ライフステージ
（の変化）等に応じた（途切れない）

支援体制整備

✓開発

地元企業とのかかわり

靴、車いすテーブル、自助具…



モニタリング



製品改良等